

今後の宿泊税充当事業の方向性 (案)

【事業の内容】

- 宿泊税は、平成27年12月の「大阪府観光客受入環境整備の推進に関する調査検討最終報告」（以下、「最終報告」という。）に基づき、「大阪の観光振興にかかる施策の柱」である、「観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進」と「魅力づくり及び戦略的なプロモーションの推進」の取組みに引き続き活用する。
- その上で、「大阪都市魅力創造戦略2025」に位置付けられた「重点取組み」やニューノーマルへの対応など、新たなニーズや課題に対応するための取組みを通じて、大阪のさらなる魅力向上につながる施策を実施していく。

【事業の区分】

- A「最重点事業」：現在、宿泊税を充当して実施している事業
- B「未実施事業(精査後)」：未実施事業のうち、今後も大阪府として事業化を目指す事業
- C「新たなニーズへの対応事業」：「大阪都市魅力創造戦略2025」の達成に向け、新たなニーズや課題に対応するための事業

【事業規模イメージ】

事業区分	事業規模計（百万円）	
	H30免税点見直し時	今回
A「最重点事業」	1,045	1,274
B「未実施事業(精査後)」	975	<div style="background-color: red; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> 本日の検討結果を受けて再試算 (次回提示) </div>
C「新たなニーズへの対応事業」	—	
合計	2,020	

【今後の事業展開】

A「最重点事業」については、社会情勢の変化を踏まえつつ、事業効果の検証を行い、PDCAサイクルによる事業の再構築等を進めるとともに、A「最重点事業」、B「未実施事業(精査後)」、C「新たなニーズへの対応事業」のそれぞれの事業についても、適宜優先順位を見直し、事業全体のスクラップ&ビルドを図りながら、事業を実施・展開していく。

(A-1) 最重点事業：観光客の受入環境の推進

第1回会議
資料4より抜粋

施策例	事業例	事業内容	事業規模（百万円）
多言語対応の強化	市町村観光振興支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 府域全体の受入環境整備を加速化し、集客促進等を図るため、市町村等が実施する観光振興事業（多言語案内板整備、観光公衆トイレの洋式化等や観光バス乗降場等の受入環境整備等）を支援 	101
情報通信に係る環境整備	Osaka Free Wi-Fi設置促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 観光エリアにおけるOsaka Free Wi-Fiの整備を支援するとともに、接続環境の改善や通信速度の向上、さらに災害時（停電時）に備えた非常用バッテリーの設置等に対し、補助金を交付 	54
観光案内機能の充実	トラベルサービスセンター大阪の運営	<ul style="list-style-type: none"> 多言語による観光案内、旅行時のトラブル等に関する総合相談などの各種サービスをワンストップで提供するトラベルサービスセンターを運営 	51
宿泊施設の整備	宿泊施設おもてなし環境整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設における多言語化やIT環境の整備等、利用者の利便性向上につながる施設整備に対し補助金を交付（新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策にかかる施設整備を含む） 	50
ホスピタリティの向上・人材の育成	ウェルカム大阪おもてなし事業	<ul style="list-style-type: none"> 多言語観光ボランティアの育成を実施 	44
交通アクセスの容易化・円滑化	公共交通機関と連携した受入環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の乗継駅における案内モニターの設置、床面に乗継経路を表示するなどの整備に対して補助金を交付 	18
	大阪・梅田駅周辺案内表示（サイン）整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 多くの観光客が往来する大阪駅・梅田駅周辺エリアにおいて、共通ルールに基づく案内サインの整備を支援 	17
	水と光とみどりのまちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 舟運の活性化や水辺の魅力創出に向けたイベント「水都大阪フェス」の開催、大阪城エリアにおける公共船着場等の整備を実施 	92
文化・生活習慣に配慮した対応	多言語メニュー作成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店向けの「多言語メニュー作成支援システム」の普及促進を実施 	20
安心・安全の確保	外国人旅行者安全確保事業	<ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者が災害発生時に必要な情報を入手できる環境整備やサポート体制の構築 	7
	災害時多言語支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に外国人が必要とする情報を多言語で提供するアプリ等を開発 	23

第1回会議
資料4より抜粋

(A-2) 最重点事業：魅力づくり及び戦略的なプロモーションの推進

施策例	事業例	事業内容	事業規模（百万円）
既存の魅力資源の整備・活用	上方演芸資料館管理運営費	・ 国内外の観光客に上方演芸の歴史と魅力をこれまで以上に発信するため施設のリニューアル等を実施	70
	百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用事業費	・ 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値を広く継続的に情報発信するための支援を実施	20
国内外から集客できる魅力づくりの推進	ナイトカルチャー魅力創出事業	・ 御堂筋全長約 4kmのイチョウ並木を装飾し、インパクトある光空間を創出する「御堂筋イルミネーション」を実施。また、大阪の夜を楽しむことができるナイトカルチャーの発掘・創出に対して支援を実施	287
	大阪文化フェスティバル事業	・ インバウンドも含めた多くの観光客を呼び込み、国際エンターテインメント都市の実現を目指すため、大阪が誇る上方伝統芸能や上方演芸をはじめ、優れた音楽、演劇、アート等、多彩で豊かな文化の魅力を広く国内外に発信するための「大阪文化芸術フェス」を開催	230
国内外から人を呼び込むためのプロモーションの推進	スポーツツーリズム創出事業費	・ 武道等の大阪にあるスポーツ資源をインバウンド向けにもわかりやすく情報発信するためのホームページを構築	6
	国内外からの誘客促進事業	・ 国内外からの話題を集め、多くの人を誘客する起爆剤となる事業を大阪のシンボリックなエリアにおいて実施	96
MICE誘致の推進	MICE誘致促進事業費	・ アジア各地のトップシェフや国際メディアなどが800人もの人が集う国際イベントを大阪に誘致するための費用を負担	10
	観光政策調査研究事業費	・ MICE誘致に係る戦略策定に必要となるデータ収集等を実施	11

(A-3) 最重点事業：その他

施策例	事業例	事業内容	事業規模（百万円）
諸経費	宿泊税導入推進事業費	・ 特別徴収義務者に対する徴収奨励金や徴税費用等 ・ 制度周知のための広報経費	64
		・ 税務システム開発経費等、宿泊税導入に係る経費を複数年にわたり償還	3

「最重点事業」 事業規模

1,274(百万円)